

▶ 教育目標

社会に役立つ心理臨床家、および、科学的素養を有した心理臨床家を育成することを目標にしている。そのため、臨床心理学や関連科学の知識の修得とともに、専修科目における修士論文の作成、さらに、カウンセリングや心理療法(臨床心理学的介入)の基礎、心理検査の実施と解釈(臨床心理査定)の基礎、臨床心理学的地域援助の実際を、役割演技や、付属の臨床心理センターをはじめとする実習施設において修得することが課せられる。

博士前期課程

	前学期	後学期
1年次	● 臨床心理学の心構え (2)	● 臨床心理面接特論 II (2)
	● 臨床心理学特論 I (2)	● 臨床心理学特論 II (2)
	● 臨床心理面接特論 I (2)	● 臨床心理査定演習 II (2)
	● 認知心理学特論 (2)	● 産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) (2)
	● 臨床心理査定演習 I (2)	● 心理療法特論 I (2)
	● 心理学研究法特論 (2)	● 学習心理学特論 (2)
	● 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開 I) (2)	● 心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開 II) (2)
	● ポジティブ心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践) (2)	
	● 臨床心理基礎実習 (2)	
	● 臨床心理実習(心理実践実習) I (5)	
2年次	● 臨床心理実習(心理実践実習) II (10)	
	● 臨床心理実習 III (2)	
	● 臨床心理査定演習 III(心理的アセスメントに関する理論と実践) (2)	● 心理療法特論 III(心理支援に関する理論と実践) (2)
	● 心理療法特論 II (2)	● 臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) (2)
	● 社会病理学特論 (2)	● 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) (2)
	● 母子関係特論 (2)	● 司法心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) (2)
	● 福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) (2)	
	● 臨床心理学研究 (8)	

● 関係科目 ● 専修科目(修士研究)